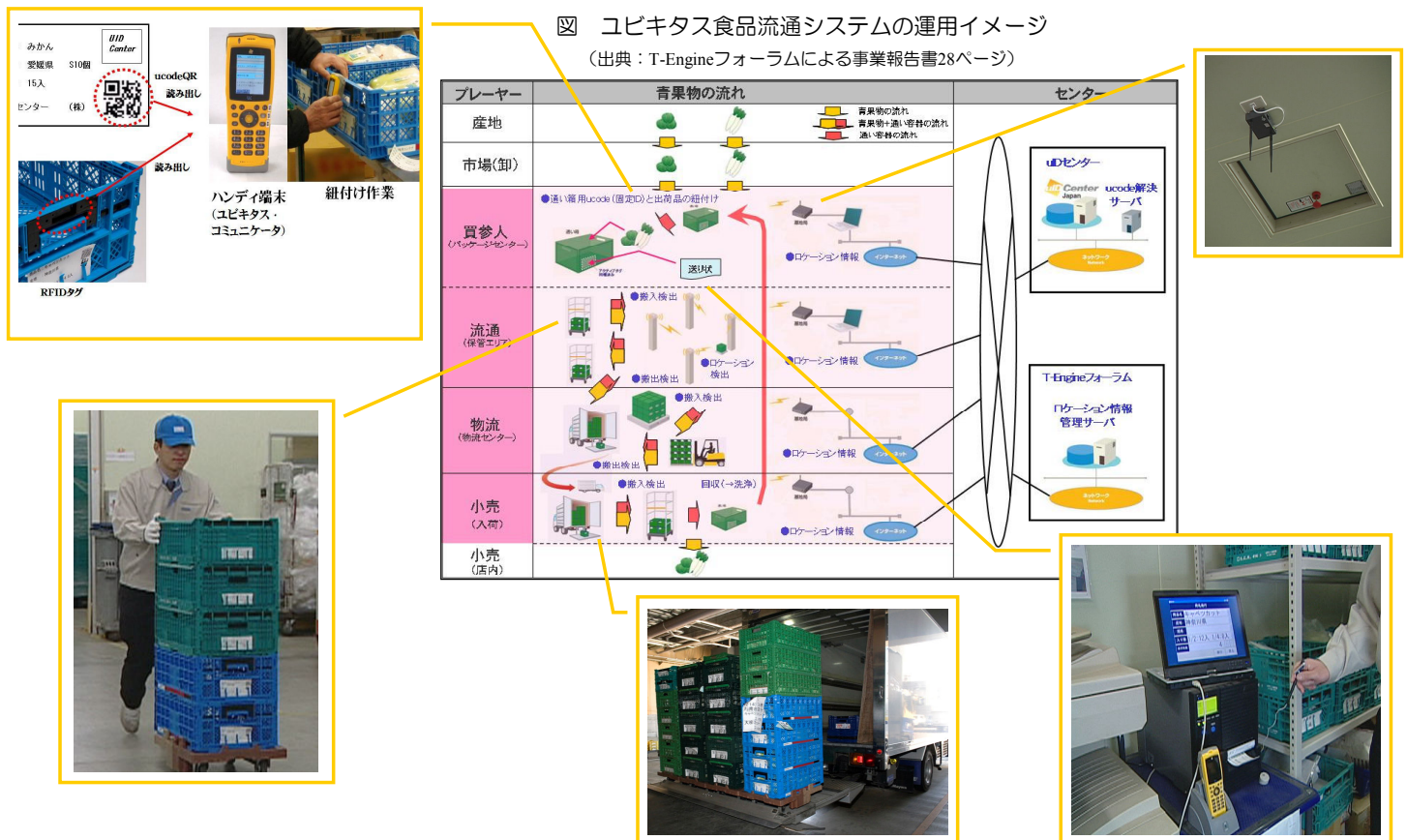


平成20年度 農林水産省総合食料局補助 新技術活用ビジネスモデル実証事業 ucodeアクティブタグを用いた 青果物管理ビジネスモデルの実証

対象品目 青果物全般（実証試験では大根、キャベツ）

使用した電子タグ 950MHz帯アクティブ型

実証の概要 アクティブタグを通い容器に内蔵させ、移動しうる拠点に基地局を設置しておくことにより、各通い容器の位置情報をほぼリアルタイムで把握可能にした。その電子タグに温度履歴を記録する機能を付帯させ、安全の担保にも役立てることを狙った。



実証された効果

1. ロケーションの自動取得
期待通り、すべての電子タグを読み取ることができた
2. 現場オペレーションの改善（在庫把握
工数削減）

パッケージセンターでの所在確認、小売店での搬入確認、レンタル業者の搬入・搬出確認の工数が削減できた
※一方で、パッケージセンターにおいては、電子タグのIDと、ラベルのIDを紐づける作業が新たに必要

費用対効果

現段階で実用化するには、初期費用（電子タグのコスト）が大きい。

表 費用と効果のバランス
(T-Engineフォーラムによる推計)

費用	効果
初期費用 5825万円	1800万円/年
継続費用 271万円/年	

※平成21年開始の場合